

令和8年度第4回合志市教育委員会会議録

- 1 会議期日 令和8年7月30日（木）
- 2 開議時刻 午後1時30分
- 3 会議場所 合志市役所 2階 庁議室
- 4 出席委員 委員 高本孝一
委員 鷹木 愛
委員 西本直美
委員 松永 勇
- 5 欠席委員 無し
- 6 職務のために出席した者
教育長 中島栄治
教育部長 牧野淳一
学校教育課 渚上佳宏 教育審議員
関 嘉晋 指導主事
佐渡絢子 指導主事
合志義浩 課長
歌野雅文 課長補佐
生涯学習課 渡辺良輔 課長
人権啓発教育課 田中政吉 課長

【冒頭に牧野教育部長より7月28日発災の令和8年熊本地震による市内文教施設被害状況について説明】

●中島栄治 教育長

ただいまから令和8年度第4回教育委員会7月定例会を始めます。よろしくお願いいたします。

まずは報告がありましたが、10年前を思い出しました。私は庁舎を離れていましたが、地震発災時に職員の何人が机の下などに隠れることができていたか。そして揺れがおさまったら市民の方を誘導して外に避難できたか。市役所は災害に即応しなければなりませんので、施設も耐震を強化してありますから例外ですが、一般的には安全確認ができるまで建物内には入らない事が原則です。というのも、イオンモールの爆

発事故のお話を聞いた時に、避難誘導は完璧であったと。しかし、避難後に安全確認が取れていない建物で思わぬ事故に遭った。あるご主人が、発災直後に奥さんと連絡を取り、避難できたと確認をされた。その後、連絡が取れなくなったと。私達は小中学校の時に避難訓練時に徹底するのは何かと言ったら、地震訓練のときは机の下に入る。揺れが収まったら運動場に避難する。そして安全を確保する。建物には危ないから入ってはいけませんとお話しします。しかし、私たち自身にその時が来たら、訓練通りの行動はとれませんよね。私も自信はありません。10年前の熊本地震からの教訓は何だったのか、もう一度考えて悲劇が起こらないように伝達していく事が大切なのではないかと思います。

では、本日の議題に入ります。

最初に会議録署名者の指名です。高本委員、鷹木委員、よろしいでしょうか？よろしく願います。

それでは前回会議録の承認です。前回会議録に訂正等は無かったでしょうか？

<全員了承>

ありがとうございます。

次に日程1、私からの報告です。

7月1日 新規採用職員服務宣誓及び辞令交付式。こちらについては、公務員経験者枠の中途採用募集をしており、その採用者に辞令を交付いたしました。

7月2日 ルーテル学院大学の松本学長が来庁されました。同日の午後、昨年採用された職員の成果発表会でした。グループで研究した合志市の課題を発表されて、1年間で成長された姿がみられたところです。

7月3日 熊本北合志地区少年警察ボランティア連絡協議会情報交換会。校長先生方など人事異動で変更となった方もおられますので、この会合でお互いに情報交換を行ったところです。

7月6日 管内教育長会議。

最初に所長から、教職員全員で協力している菊池管内の姿、また、校長先生方のリーダーシップに感謝しているというお礼がありました。

次に管理職選考考査、教頭、校長の試験について。受講資格があることと、推薦することは別です。推薦するからには推薦した責任がありますので、本当に推薦に値するかを考えてくださいとの事でした。

次に管内の6月末時点の教職員情報です。

退職者はゼロ。臨時採用が1名。メンタルによる休職者が管内で9名。それから私傷病または休職に至らず病気休暇で休まれてる方が2名ということです。

健康、メンタル、指導力で心配される教諭等が菊池管内にもおられます。そういった先生方への配慮に関しては、管理職の先生方にしっかりサポートをお願いしているところです。特に新採の先生、また、管外からの再配者などの方が職場環境変化等に適用できないケースが多いので注意してほしいというお話がありました。

本市でも学校からの要請に応じて指導主事等を積極的に派遣し、また、小中一貫コーディネーターなどを派遣して対応しております。

続いて不祥事防止です。逮捕、マスコミ報道、被害届の提出可能性のある場合は、すぐに一報を入れて欲しいと。

インクルーシブ教育については、中学校3年生までの間に、通常学級で対応した方が良い場合を見分けて、その様な場合には合意形成をしていただきたいとのお話でした。

その他で、教員採用試験の小学校1.1倍、中学校1.9倍。小学校の1.1倍というのは、受けたら合格するという割合になってます。中学校も1.9倍ですが、教科によっては定員割れとなっており、これが現実であり、厳しい状況であると思っています。

最後に、夏季休業中のSOSの出し方に関する教育ということで、私達の間も離れますので、こども達に徹底して欲しいとの事です。

7月9日 市校長会議。まず、熱中症対策についてお願いしました。また、市概要訪問対応へのお礼と併せて、学校の格差が少し生まれてきてる部分を注意して欲しいということと、管理職選考考査についてお話をしました。

夏季休業中前の教育活動ということで、夏休みは何のためにあるのかを各学校明確に持って欲しい。これは自主自立、自分で考えて自分で生活をするということです。暑いから学校に行かないのではないという事です。夏休みの朝から起きるのも、手伝

いをするにしても、全部自分で計画して考える。それがしっかり計画通りできるかどうかを試す期間であることをこども達と共有して欲しいとお話ししています。

その他で、小学生は民生児童委員さん達の名前や顔を知っておいていただきたい、何か困ったことがあったらこの人に相談できるという事。中学生は声をかけられたときに挨拶ができるかどうかが大事ですので、補導委員さんたちの顔と名前を学校ごとに伝えておいて欲しいとお願いしました。

来年から公立高校入試通信欄の変更が予定されています。そのことについて、こども達へ学校に来るのは高校受験のためだけではない、友達と様々な活動を行うために来ているのであって、登校する本当の意味を伝えて欲しいとお願いしました。

7月11日 竹迫観音祭り。

7月13日 合志技研から寄附の件で来庁されました。その後、学校給食運営関係者会。

7月14日 庁議。15時30分から市地区学校等警察連絡協議会兼生徒指導連絡会。夏休み直前に実際の生徒指導上の注意点をお話していただいたところです。

7月17日 教育事務所長ヒアリング。現在、合志市内の小中学校の評価は非常に落ち着いているということでした。

7月22日 市初任者地域理解研修。少し残念だったのは、私の提言である「夢プロ」を誰も言えなかったことです。改めて説明させてもらいました。

7月24日 市教育講演会。いかがだったでしょうか？内容は生徒指導についてお話ししましたが、こども達が本当に荒れていた時代に戻らないために、やはり先生方が最低限の努力というものはしていただかなければならない。この部分に関しては、こだわりを持って、しっかりわかってもらいたいと思いますし、今後も力を入れます。

7月25日 人権教育研究大会。森口健司さんに講演いただきました。森口先生のお話を若い方は理解できなかったのではないかと思います。50代までの年齢の方はわかったと思いますが、20代～30代の方々はわかっていただけなかったかとも思いますので、教職員の先生方についてはベテランの先生が森口先生の話を経続的に話題にしてもらい、少しずつ理解していただければと思います。

私からの報告は以上です。何か質問はございますか？

<質問無し>

では、日程2報告事項等に移ります。

8月の行事予定についてお願いします。

● 淵上佳宏 教育審議員

8月は夏季休業期間中ということもあり、あまり計画等も入っておりません。

合志市関係です。

8月3日 市校長会。

8月5日 市教頭会。

8月6日 市主幹教諭会議。

この会議は本年度まではこの時期に行いますが、来年度から8月1日～15日までは主要会議を行わない旨の通達がきておりますので、来年度は時期を変えて計画をすることになります。

合志市内は、10日から15日までの間を学校閉庁日ということで設定させていただきます。

学校閉庁中の休日については部活動も実施しないで欲しいというところです。

8月の教育委員会会議は28日を予定しております。後ほどご承認願います。

菊池教育事務所、関係団体については、夏季休業期間中ということもあり、沢山の研修等が入っています。ただし、今回の地震の関係で、8月初旬の研修等は中止の連絡を受けているものがあります。

● 中島栄治 教育長

ありがとうございました。次回の教育委員会会議ですが、28日の13時30分からでよろしいでしょうか？

<全委員、了承>

その他についてご報告をお願いします。

まず生徒指導についてお願いします。

●佐渡絢子 指導主事

6月末の長期欠席児童生徒数が124名。昨年より20名弱減っております。

不登校数としても89名ということで、こちらの方も昨年より減っております。不登校傾向児童生徒数は115名ということで、先月とほぼ変わりませんが、この数は変動いたします。

内訳でみると小学校も高学年、中学校も学年が上がるにつれて不登校の児童生徒が多くなっております。

直近2ヶ月連続でひと月の欠席が7日未満の児童生徒は、6月はおりませんでした。7月末の時点では何名か出てきております。

民間施設等利用児童生徒数は6月30日現在で30名です。新しく7月に2名、メタバースオンラインを受けることも、勇志国際高等学校で通信制がありますが、その中等部を追加しております。

今月中にトライ式の中等部の希望がありましたので、今後審査を進めていく予定です。

教育支援センターは6月末で17人ですが、7月末の時点で19人になっております。8月中に3名面談を予定しておりますので、前期後半からは22名でスタートすると思われます。

いじめについては6月に1件の新規報告がありました。小学校です。1人の生徒に対して、複数の生徒の発言や態度がいじめに当たるということで、対応しています。今後も見守りをしていきたいと思います。以上です。

●中島栄治 教育長

この施設利用料、一番高いところと、一番安いところでどのくらいの利用料ですか？

●佐渡絢子 指導主事

正確ではないかもしれませんが、低額なところでは月2万円程度と聞いております。高額なところでは、授業料が5万円程度、それにプラス、給食費や施設費などの費用が必要です。また、施設の多くは熊本市等の近隣市町にありますので、通学費も必要となります。

昔はフリースクールに通うのに年間100万円は必要と聞いてました。

国が行っている事業で就学援助のご家庭には、前期後期で2万円を上限に交通実費を支援するというものがあります。去年は希望者がおられましたが、今年はまだないようです。

もう一つ、県は就学支援以外の家庭に対しての補助制度も行っておりますが、今年は申請をしておりません。必要があれば、来年度は考えなければならないと思います。できれば教育支援センターを選択していただければと思います。学校と関係が近いので。

●中島栄治 教育長

50名のこども達が学校教育以外の方法をとっていますので、そこに対してはしっかり対応したいと思っています。

では続いて、合志楓の森小中学校給食施設の運営、民間委託の契約更新について説明をお願いします。

●合志義浩 学校教育課長

小中学校の給食運営については、合志楓の森小中学校給食運営について令和3年度から委託をしており、3年契約で現在2回目の契約が本年度で終了します。次の第3回目の業務委託先については、業者選定をプロポーザルで行うところですが、委託期間については、これまでの民間運営の安定的な実績を見て5ヶ年の設定で考えております。

今年度9月補正予算として5ヶ年で3億5,000万円の事業費を計上します。

民間委託としておりますが、民間委託部分の一部としております。具体的には食材の調達は公で行いまして、民間委託した中でも検食については、学校長で行っていたいています。

同事業の評価についても、令和7年度末については、事務局側だけではなく、実際に給食を食している児童生徒、学校関係者の方々に採点をしていただいております。その評価では、100点満点中、81点と高い評価を得ておりますので、民間委託に対する評価は十分に得ていると考えております。説明は以上です。

●中島栄治 教育長

5年間を見越して人材を雇用するなどもありますので、民間委託の継続を考えています。

ご質問はありませんか？

●松永勇 教育委員

現在、旧西合志町については自校式かと思いますが、給食センター式に変更となると以前伺っていたんですが。

●中島栄治 教育長

はい、センター方式となります。現在、建設に向けて設計等をおこなっております。運営、委託方法は現在検討中となります。

その他全体を通して何かご質問等ありませんか？

●高本孝一 教育委員

私は西合志図書館に勤めておりますが、地震の際、利用者の方の避難誘導を行おうとしたところ、腰が抜けて動けないなどの方がおられ、無理に出すことはできませんので、スタッフが付き添いをしました。また、年配の方は駐車場に誘導しようとしたが外が暑く、また、交通手段も無いという事で館内におられました。

教員時代に子ども達と避難訓練を行っていた時は必ず運動場に避難させて建物から遠ざかり、安全な場所に待機すると教えていたんですが、現代は待機する広くて安全な場所がない。外は40℃を超える酷暑でアスファルト上はもっと暑い。何か手立てを考える必要があると感じました。今まで学習してきたマニュアルでは対応できないと感じています。

●中島栄治 教育長

社会教育施設も決まったマニュアル通りにはいかない。これは生涯学習課の宿題になるかと思います。

鷹木委員、何かありますか？

●鷹木愛 教育委員

地震の際、地域で行う日頃の防災訓練が非常に役に立ちました。私が住んでいる地区は22世帯が班となっていますが、普段から清掃活動や防災訓練を行っていま

す。今回の地震でも揺れが落ち着いたところで公園に集まり、安否を確認しました。集まったことで落ち着いて行動できたように思います。また、安心感がありました。しかし、暑さもあり、30分くらいで各々家に帰り、片付けなどを行いました。その際、基本的な安全確認などは行わなかったもので、その点は反省しなければと思います。

また、10年前の地震と大きく違うと思ったのは、皆さんが落ち着いてアプリやホームページで情報収集をしていたことです。市役所などに問い合わせが殺到すると混乱するので、自分のスマホアプリなどから情報を見ておられました。

●中島栄治 教育長

ありがとうございました。現在、防災無線の更新か撤去かというお話が出ています。今のようなお話で、情報収集をアプリ等で行っていただければ撤去もありかなと思います。今後、様々なご意見が出てくると思います。

西本委員、何かありますか？

●西本直美 教育委員

地震の事ではありませんが、志合わせて夢実現プロジェクトの動画がすごくわかりやすかったです。

各学校のホームページで見れるようにしていただきたいと思いました。

●渕上佳宏 教育審議員

指示をいたしまして、各学校のホームページにリンクを貼るようにします。

●中島栄治 教育長

松永委員、何かありますか？

●松永勇 教育委員

私も初めての教育委員会議に参加させていただきました。市内小中学校体育館に空調施設を設置されていると思うのですが、校長先生とお話ししたら、使い方の詳細がまだ教育委員会から示されていないからあまり使えないというお話もありましたがどうですか？

●中島栄治 教育長

体育館空調を導入した学校では、卒業式、入学式でも使用しています。教育委員会から使用の方法もお知らせしておりますので、こども達の学習活動で必要な場合は使っていただいて大丈夫とお話しています。

体育館空調の点では、現代の異常な夏の暑さに対応するためには必要かと思いますが、ただ、外で働けないこどもを育ててしまう可能性もあります。

冷房の効いた部屋で長時間過ごす体温の調整がこども達もそうですが大人でもできなくなります。夏休み冷房にずっと入っていたこども達、学校が始まってこの30度を超える中、徒歩通学したら危険かもしれません。その点は次回の校長会で確認していきます。ありがとうございました。

それでは、以上で閉会したいと思います。

以上をもちまして令和8年度第4回教育委員会議7月定例会を終わります。お疲れ様でした。

～ 午後2時50分終了 ～